

京都市立下京中学校改善プラン

— 教職員の協働を高める組織づくり —

専攻 学校指導職専攻

学籍番号 M07262D

氏名 塩谷 道次

1. はじめに

都心部の児童数減少が将来的にも継続することが見込まれた京都市では、小規模校問題を行政上の最重要課題とし、昭和58年に小規模校問題の調査研究プロジェクトが発足した。明治初期に地域住民の力によって学校が創設されたという歴史と伝統をもち、現在も学校が地域の自治活動の拠点となっている本市においては、学校統合には多くの困難が予想された。しかし、後に「京都方式」と呼ばれるようになった、「小規模校問題は教育問題であると同時に地元問題である」という観点から、地元住民の進取の気風と教育に寄せる熱意、地元の叡智に信頼を置いた「地元主導」「地元と行政のパートナーシップ」のもと、徹底した情報公開と地域・保護者の十分な議論により、子どもたちの教育に焦点を当てた統合が進められ、平成19年4月までの20年あまりの間に、58校の小・中学校が15校に統合されてきた。今回改善プランを作成する下京中学校も、「京都方式」で統合した京都市でもっとも新しい統合校である。また「全国初の5中学校統合」であり、その統合規模も、5中学校19学区にまたがり、新しい校区の人口規模が京都府綾部市に相当するような大規模な統合である。同時に、5つの学校文化が統合してできた学校ともいえる。

この下京中学校は私にとっては一度も勤務したことのない学校である。兵庫教育大学と京都市教育委員会の調整によりインターンシップ校として指定された学校である。しかし、統合した5中学校の一つの

学校にて教頭として閉校までの3年間勤務しており、内情等全く知らないわけでもない。微妙な立場ではあるが、学校訪問、インターンシップ、管理職・教職員からの聞き取り等から知り得た情報を基本にして、開校2年目の下京中学校がめざす教育の確立、充実と発展、さらには京都の教育の未来を開くモデルとなることを願い、今推進中の学校づくりの補い、軌道修正を改善プランとして提案させていただく。

2. 改善プランの概要

はじめに

第1章 下京中学校の現状と課題

第1節 学校概要

統合までの経緯、基本特性、校区の概要、

教育目標…「創徳」「究理」「鍛錬」「共生」

基本姿勢…一人一人を徹底的に大切にする
教育課程、校内組織等

第2節 特色

1 豊かな「人間教育」の実現に向けて

・地域との融合をめざす「京都学」の推進

・主体的に学び続けることのできる質の高い学力の育成

・家庭・地域との連携・協力による道徳的実践力の育成

・「共育」理念の実現をめざす学校運営協議会

2 子どもにより良い環境を

地域の熱い思いが注入された最新の教育環境・設備

第3節 現状と課題

1 現状

(学校・教職員)

- ・激動の1年目→足場固めの2年目
- ・仕事と時間に追われる毎日

(生徒)

- ・全体的に落ち着いた学校生活

(保護者)

- ・教育への関心高く協力的

(地域)

- ・学校へは協力的
- ・元5中学校区間の連携がまだ十分でない

2 課題

- ・十分でない組織的運営・協働体制
- ・献身的に黙々と教育活動をこなす教職員
- ・危機に対する認識のあまき

第2章 下京中学校改善プラン

第1節 改善プランの基本構想

下京中学校づくりの補い・軌道修正が中心

第2節 下京中学校改善プラン(各論)

1. 協働する教職員組織・環境づくり

- (1) 学校経営ビジョンの明確な提示
- (2) 学校経営ビジョンの共有

- ・教職員自己申告目標を利用
- ・職員会議の改善
- ・オフサイト・ミーティング活用

- (3) 各分掌のプロジェクトチーム型経営

- (4) 危機管理への意識改革

- ・企画委員会を危機管理・企画委員会に

2. 学び合い高め合う教職員集団づくり

- (1) 次代を担う若手教員の育成

- ・ベテランと若手による二人担任制
- ・育成を視点にした校務分掌配置

- (2) 専門性を高める研修

- ・課題別グループ校内研究・研究交換会

実施

- (3) 教員の仕事量・多忙感の軽減

3. 地域と共に育つ、共に生きる学校

- (1) 共に育つ

5中学校区からそれぞれの学校文化を持った生徒・保護者・地域が集まった学校であり、お互いを知ることがまず第一歩。

- ・生徒・地域・保護者・学校が企画から取組ま
で協働する取組実施

- (2) 共に生きる

- (a) 「学校」と「学校に隣接する地域」

学校ができて良かったと実感してもらえる学校

- ・地域を巻き込んだ合同避難訓練・救命講習の実施

- (b) 「学校」と「校区全体としての地域」

人を育て人を繋ぎ伝統・文化を繋ぎ地域を繋ぐ拠点としての学校

- ・下京中学校区人権フェスティバル(仮称)の
実施

(学校運営協議会・地域・家庭・生徒・学校の協働)

- (3) 共に活動できることに感謝し、温かい対応、も
てなしのできる学校・教職員集団

- 互いの人間関係を大切にする、紡ぐ学校
- ・ホスピタリティ研修実施

4. 教育委員会のサポート体制

開校後の支援体制を要望

第3章 改善プラン実現に向けて

第1節 実施計画

おわりに

主任指導教員 竺紗 知章

指導教員 竺紗 知章